

愛知県板金工業組合 創立50周年記念事業開催 於 パナソニック名古屋中村ビル



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中村区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

創立50周年記念事業開催が平成28年6月26日(日)、パナソニック名古屋中村ビル南館3階・会議室にて行われた。

午後12時30分受付開始、組合員74名の出席で午後1時より、司会の鈴木修治氏(中村支部)の開会宣言にて始まった。

続いて県板理事長・小野寺俊一氏の挨拶。

この50周年記念事業の趣旨説明を清水三男氏(岡崎支部)から組合員数減少の問題の他、「現在、我々板金業の状況は、技能者不足、単価の下落など非常に厳しい状態です。この状態から脱却する為には、独りではなく皆さん意見の元に、国や団体に訴え働き掛ければ、少しでも我々にも一筋の光が差すのではないのでしょうか」等の説明があった。

続いてグループ討論の

説明。サブタイトルには、次のように記載されていた。

「今こそ語ろう、思いをぶつけろ！組合の存在意義とは、何だ！」業界の未来はココ(個々)にある！

先般、組合員からのアンケート結果を深く掘り下げて、グループ討論会を行った。議題は3つ、「人」、「お金」、「地位」について、10グループに分かれ、約1時間テーマに沿って意見を出しあった。

各自それぞれが気になる事や実践している事など、つい耳を傾けてしまふ様な話も飛び交った。その後は議題ごとにグループ発表がされた。

まず「人」については、従業員の人材確保について、あるグループでは職安・ネット・広告・知人からの紹介・身内などあらゆる手を尽くしている。また、従業員に対して福利厚生等の充実など個々に努力をしている等。「お金」については、現

在の賃金額が妥当なのか？応援者に対しての賃金・交通費・消費税(今後は10%)の事。他に工事単価が昔から変わらなく余り儲からない。また、無理な工事金額提示をされる困る。などの意見が出た。

「地位」については、一般的に板金屋の知名度が低いと思われる。知名度が上がれば地位が上がるのではないか、その為には保証制度の保証書の発行で差別化を行えば、組合・組合員の地位向上に繋がるのではないか、などの意見も出た。

休憩を挟み、続いては全体会議、パネルディスカッションの始まりです。



▲ 全体風景

司会進行
河田雅彦氏(東三支部)
パネラー(回答者)
久世明男氏(岡崎支部)

鈴木修二氏(中村支部)
谷倉好光氏(瑞穂支部)
戸松孝明氏(岡崎支部)
西俣友雄氏(豊田支部)
平松英二氏(東三支部)
村松利孝氏(西尾支部)
パネラーの皆さんから

は、議題の「人・お金・地位」の回答を実体験の中から、対処の仕方や実例など、普段聞くことができない話が参考になった。

全体会議後の理事長総評では人材確保について、雇用主側の問題であり対応次第で確保できる。など、「個々に雇用側・お



▲ グループ討論の発表

金を貰う側・仕事をする側がしっかりとした内容を身に付け仕事に活かして行けば地位向上になるのではないかと、述べた。

次に開催会場となった関連会社のパナソニック電工より雨樋のFS-II型とアーキ・スペックトイを紹介された。

最後に清水三男氏の閉会の辞により終了した。

参加者からは、今回の様に一歩踏み込んだ話が県内の各地域から来た皆さんとできたのは、とても良かった。この様な機会がまたあれば参加したい。等の感想であった。

檜谷(知多支部)



▲ パネラーの皆様

カンボジア視察団発足

「カンボジアの子供達に板金技術を教えている人がいる。」

その事実を僕が知ったのは昨年11月の西三板金連合会総会後の懇親会だった。

講演会講師としてあま市よりお見えになった鈴木千雄氏。僕らと同じ板金屋さんである。鈴木氏は会社経営を息子さんへ譲り、カンボジアに校舎を寄贈し、板金技術を子供達に教えているという。その時の僕の正直な気持ちは「へえ、すごい人がいるもんだなあ。」「で、カンボジアってどこにあるの?」と、全くの他人事。(まさかその数カ月後にそのカンボジアへ行くことになるとは想像も



▲ 打ち合わせ会での鈴木氏(左)と根岸氏(右)



▲ 打ち合わせ会風景

してはなかった・・・)時は流れて2月の総代会。総代の僕は総代会へ出席。その後の懇親会も出席し立食パーティーでお酒も飲み、周りのみんなも赤ら顔になってきた頃、広報委員長の松浦さんが僕の所へ県板青年部長の望月克治氏を連れてやって来た。「何かなあ?」と思った瞬間に松浦さんが「赤池君、広報委員としてカンボジアへ行ってくれんか?」「えっ?」一瞬にして酔いが醒めた。「どういうことですか?」と話を聞いてみると県板青年部の有志でカンボジアへ板金学校の視察・応援に行こう!という企画があるという。そのプロジェクトに広報委

員として同行し、機関紙「愛板」の記事にしたいとのこと。ほんとうになんとなくだが「何とかなるだろう。」と「はあ。わかりました。」と返事をしてしまった。

翌日からは寝ても覚めても仕事をしていても頭の中はカンボジアの事だらけ。期待と不安。(と言っても不安が9割を占めていた。)

3月に入ると望月氏が「カンボジア視察団」成るラインのグループを作成。そこでは行くメンバーや関係者がいろいろな情報交換を行い、少しずつ安心してカンボジアへ行く希望が持てるようになった。

そして、4月19日に初めての打ち合わせ会が名駅前のベトナム料理店「スコンター」にて行われた。鈴木氏と東京から「21世紀のカンボジアを支援する会」理事長の根岸恒次氏にも参加してもらい、望月団長よりこのプロジェクトの趣旨、内容、参加者の発表があった。

参加者は、小野寺俊一愛知県板理理事長、望月克治県板青年部長、伊藤哲

章氏(中川港・会計、板金指導担当)、津坂和豊氏(熱田南・板金指導担当)、津坂理沙さん(カレール調理担当)、赤池義徳(豊田・広報担当)の6名です。

鈴木氏や根岸氏にカンボジアの食べ物や通貨の話等を聞き、質疑応答があり次回は6月の出発前に打ち合わせ会を開くことで解散となった。

6月1日の打ち合わせ会の2週間ほど前、我々カンボジア視察団に衝撃が走った。一緒に同行してもらった予定だった鈴木氏が急逝してしまったのだ。現地を良く知る人がいなくなってしまうという不安が襲いかかったが、望月団長が「鈴木さんの追悼ツアーにしよう!必ず成功させよう!」とみんなに声を掛け、皆それに賛同した。

6月1日の打ち合わせ会には根岸氏にも来て頂き、チケットやビザ、各担当の持ち物等の最終確認を行った。

赤池(豊田支部)

次回の「6月9日。いよいよ出発」へ続きます。

6月度の動き

【県板】

1日 技能検定委員会議

1日 於 県訓練会館 技能委員会

5日 於 組合会議室 愛知県総合職業訓練協会 通常総会

6日 於 中日パレス 出席者 理事長

6日 於 組合会議室 三役会

6日 於 組合会議室 経済産業省・中部経済局・消費税監査室との会議

13日 於 組合会議室 愛知県職業能力開発協会 協賛会

17日 於 後藤副理事長 愛知県技能士会連合会 総会

19日 出席者 理事長 創立50周年 第5回実行委員会

22日 於 組合会議室 総務委員会

26日 於 組合会議室 創立50周年記念事業 於 パナニック名古屋 中村ビル南館3階会議室

29日 於 組合会議室 広報委員会

30日 於 組合会議室 全板連・日板協 正副理事長/会長会議 於 日本鐵板(株)大阪支社 出席者 理事長

【各支部】

瑞穂支部 1日 定例会 16名

春日井支部 8日 定例会 6名

津島支部 各事業の報告、他

豊田支部 15日 定例会 7名

西尾支部 6日 第3回役員班長会15名

知多支部 8日 青年部定例会 2名

28日 愛の献血運動 32名

編集後記

この新聞が皆さんの手元に届く頃は梅雨明けしているかもしれませんが、この編集後記を書いている今日(6月24日)は、梅雨の真っ只中。現に今も外は雨、、、

我々建設業は天候に大きく左右されてしまう。雨が10日も続き、現場が止まってしまえば死活問題にもなりかねません。世間では水不足の報道もされていますが、勝手言わせてもらえば「雨降らんできれ〜!」当分天気予報にとらめつこの日々が続きます。M

六月二十九日(水)
五二七号 編集会議
広報委員 七名
午後二時半開会
五時閉会

県板事務局

夏期休暇のお知らせ

日頃は、組合事業にご協力を賜り有難うございます。県板事務局は、8月13日(出)から8月18日(内)までお休みさせていただきます。